

2016 年度年次大会 会長報告
2017 年 7 月 29 日 (土曜日)
於：香港日本語教育研究会事務所

会長挨拶

香港日本語教育研究会会長
梁 安玉

会員の皆様

本日はご多忙の中、「非営利団体」NPO 法人である香港日本語教育研究会第九回総会にご臨席を賜り、心より感謝を申し上げます。

当研究会は 1978 年に香港における日本語教育関係者の親睦・情報交換を目的として創立され、2007 年 9 月に香港政府より非営利団体 NPO 法人として認められました。それ以来、皆様のご指導とご鞭撻により、日本語教育・日本研究の教育関係者・研究者の方々と、の学術・教育交流を進めると共に、香港における日本語教育の普及と促進に力を注ぎ、様々な活動を展開してまいりました。

2016 年度における当研究会の活動でございますが、まず、年少者のための日本語教育の普及、促進を目的といたしました「香港小中高生日本語スピーチコンテスト」が第 12 回目を迎えました。数多くの応募者の中から、厳しい予選を経て、小学生の「詩の朗読」、中高生の「詞の朗読」、中高生の「朗読劇」、高校生のスピーチの 4 つの部門に合計 49 名の出場者が選出されました。出場者はそれぞれ印象的なパフォーマンスを披露し、来場者に大きな感銘を与えました。

そして、年少の日本語学習者の学習意欲を高めるために 2011 年に設立した日本語成績優秀者への奨学金と日本研究関係のプロジェクト賞は、2016 年 9 月に 6 回目の授与式を行いました。高校の日本語成績優秀者 6 名に奨学金を、14 名にプロジェクト賞を授与しました。また、副学士課程の日本語成績優秀者 5 名に奨学金を、12 名にプロジェクト賞を授与しました。

1994 年に発足されました「国際日本語教育・日本研究シンポジウム」が、2016 年には第 11 回の開催となりました。長年日本語教育に携わっている方々、日本に興味をお持ちの方々のご協力とご支援のもと、11 月 19 日と 20 日の二日間にわたり、アジア、欧州、豪州、北米の 15 国と地域より合計 272 名の参加者を迎え、発表の総件数も 155 を超えました。

また、香港の日本語教師の要望に応えるため、国際交流基金の海外派遣日本語専門家でいらっしゃる山下直子先生のご協力を得て日本語教育のワークショップと日本語教師セミナーを開催いたし、好評を博しました。

更に、海外との交流においては、香港日本語教育研究会は、「日本語教育グローバルネットワーク」の一員として、日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、豪州、欧州、カナダ、ニュージーランド、インドネシアの各国の日本語教育の専門家や研究者の方々との交流に努めております。9月にインドネシアのバリ島で開催された『日本語教育世界大会』に参加し、世界各国・地域の日本語教育者と有意義な意見交換ができ、今後の香港における日本語教育の更なる促進に力の限り尽力いたす所存でございます。

最後になりますが、この場をお借りしまして、今一度、在香港日本国総領事館、国際交流基金、及び会員の皆様方の温かいご支援、ご協力に心より御礼を申し上げます。なお、2016年の研究会の業務が順調に運ばれましたことは、理事、各委員会の委員、事務所の職員の尽力のおかげと、心より感謝いたしております。香港の日本語教育の普及と促進がますます繰り広げられますことを心より期待申し上げます。そして、世界各地域との学術及び教育の交流、世界的な視野を持つ香港の日本語教育の更なる普及と振興に貢献できましたら幸いです。今後とも、引き続き、変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、2016年度(2016年1月1日～12月31日)の当研究会の活動報告をまとめました。

- 1月8日～23日、日本語教師セミナー（第Ⅰ期）を開催。参加者総数：26名。
- 2月20日～3月5日、日本語教師セミナー（第Ⅱ期）を開催。参加者数：5名。
- 3月19日及び20日、「包括的なプロフィシェンシーを向上するための教室内外の学習リソースの相互活用——最新理論と実行——」の講演会及びワークショップを主催しました。協賛団体は国際交流基金 JF にほんごネットワークで、会場協賛は香港公開大学李嘉誠專業進修学院でした。内容は以下の通りです。

【講演会】

- ① 「外国語教育理論、外国語教室内外における言語／文化の境界を考える」
佐藤慎司先生（プリンストン大学東アジア研究学部日本語プログラムディレクター／主任講師）
- ② 「成人の外国語教育における教室の役割——経験学習モデルを踏まえた教室活動」 神吉宇一先生（長崎外国語大学特任講師）

【ワークショップ】

- ① 「教室内外のリソースの相互活用：社会・コミュニティ参加をめざす日本語教育（実践編）」佐藤慎司先生（プリンストン大学東アジア研究学部日本語プログラムディレクター／主任講師）
 - ② 「教室内外のリソースの相互活用：プロジェクト中心クラスの「メタプロジェクト」を例にして」 神吉宇一先生（長崎外国語大学特任講師）
- 4月17日、第12回香港小中高生日本語スピーチコンテストを開催。
 - ◎ 会場：香港公開大学何文田校舍楊雪姬演講廳
 - ◎ 出場者数：暗誦の部（小学生）10名、暗誦の部（中/高生）10名、朗読劇の部（中学生）5チーム、スピーチの部（高校生）8名、出場者総数：49名

- 5月4日～18日、日本語教師セミナー（第Ⅲ期）を開催。参加者数：14名
- 6月19日、2016年第1回日本語能力試験(N3及びN5級)模擬試験を実施。応募者数：450名。
- 7月3日、2016年第1回日本語能力試験(N1～N5級)を実施。応募者数：6251名。
- 7月9日、副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞候補者の面接を実施。
- 7月23日、香港日本語教育研究会第八回総会を開催。
 - ◎ 総会后、講演会を開催
 - テーマ：「異文化との出会い——これまでの外交生活を振り返って——」
 - 講演者：井川原 賢 様（在香港日本国総領事館 首席領事）
- 7月、『日本学刊』第19号を出版し、総会で会員へ配布し、香港及び海外の日本語関係機関に郵送にて送付。
- 8月6日、高校の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞の候補者の面接を実施。
- 8月20日、HKDSE試験のための座談会を開催。
- 8月24日、「JF日本語教育スタンダード準拠——ロールプレイテスト方法」のセミナーを開催。
- 9月24日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金ならびに日本研究関係のプロジェクト賞の授賞式。
- 10月15日～12月17日、日本語教師研修セミナー（Part1基礎編）を開催。
- 11月、『第10回国際日本語教育・日本研究シンポジウム大会論文集』を発行、香港及び海外の日本語関係機関に郵送にて送付。
- 11月19日及び20日、香港公開大学、香港公開大学李嘉誠專業進修学院と『第11回国際日本語教育・日本研究シンポジウム』を共同開催しました。参加者数：272名。
- 11月20日、香港地域における2016年第2回日本語能力試験(N4及びN5)模擬試験を実施。応募者数：500名。
- 12月4日、2016年第2回日本語能力試験(N1～N5級)実施。応募者数：7747名。
- 2016年度の香港における日本語能力試験実施は2回。受験応募者総数：13998名。

【理事会】

毎月定例理事会を開催、理事による審議・討論を経て、会の運営等について決定。2016年度は計11回の会議を実施。

【月例会】

毎月第2土曜日(2時～4時)に、当研究会事務所のホールにて、講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で実施。

講師—香港で高等教育、中等教育、日本関係研究に携わっていらっしゃる方々。

2016年度は計5回開催し、参加者平均約20名。

以上